

国際協力



2012 春号 | No.31 2012.4.1 | JICA駒ヶ根

Contents

駒ヶ根市・ポカラ市 国際協力友好都市 協定締結10周年 …………… 2	国際協力エッセイコンテスト 受賞者・受賞校決定 …………… 3
イベント・レポート …………… 2	JICA駒ヶ根インフォメーション …… 3
OB・OGの職場訪問 …………… 3	JICAボランティア春募集スタート …… 4

民間とJICAボランティア事業との ～民間連携ボランティア派遣事業～ コラボレーション



近年、国内企業の経営環境が厳しくなる一方、グローバル化の進展により製造業をはじめとする民間企業は海外進出の動きをにわかにスピードアップしています。その状況下でJICAボランティア経験者は、リーダーシップやコミュニケーション能力を途上国の厳しいフィールドで鍛える機会を得た“グローバル人材”であるということから、改めて脚光を浴びつつあります。

このような中、JICAは4月より民間連携ボランティア派遣事業の設置を新たに目指しています。これは、派遣国や職種、派遣期間等について企業側のニーズに即したものとなるよう個別調整したうえで企業の人材をJICAボランティアとして派遣するという、これまでの個人の発意ベースとは違う斬新な枠組みで行われるものです。詳細制度の早期デザイン&リリースが待たれますが、これを機に、ボランティア事業だけではなく、市民参加協力そのものの枠組みをこれまで以上に柔軟なものと位置付け、例えば企業の行うCSR活動とも積極的に連携していくべきタイミングであると考えます。

ところで「民間」とは名前に冠するものの、この実態は「JICA以外」あたりでとらえておくほうが自然な印象を受けます。将来の国際協力のアクターには当然、大学もNPOも地方公共団体等も含まれるわけですから、もっと包摂的な呼称はないのでしょうか?!
(JICA駒ヶ根 木下佳信)

JICA駒ヶ根の取り組み

JICAボランティアと民間企業との連携は、駒ヶ根訓練所においても少しずつ芽生え始めています。

2月10日、11日には、首都圏から企業、自治体関係者ら9人が訓練所を訪れ、訓練生との懇談や派遣前訓練の視察を通じ、JICAボランティアについて理解を深めました。また、2月4日には、県内の企業2社の人事担当者が駒ヶ根訓練所において、帰国したJICAボランティアらを対象に企業説明会

を実施しました。

このように、世界を舞台に活躍できる人材として注目されてきているJICAボランティアを、駒ヶ根訓練所も積極的に、継続的に支援していきます。



語学研修見学の様子▶
(フランス語)

駒ヶ根市・ポカラ市 国際協力 友好都市協定締結10周年

「青年海外協力隊訓練所があるまちづくり」を進めている駒ヶ根市は、2001年、ネパールのポカラ市と「国際協力友好都市協定」を締結しました。昨年は協定締結10周年。積み重ねてきた交流の深さを印象付ける年となりました。

2011年11月、駒ヶ根市民訪問団23名がポカラ市を訪れました。一行は、交流の象徴ともいえる母子保健病院を視察したり、ネパールで活動中の青年海外協力隊員と懇談したりするなど、充実した時間を過ごしました。

この訪問を事務レベルで担当されたのは、JICAネパール事務所に派遣された経験のある駒ヶ根市職員の方々。1998年から計5人がボランティア調整員として活動しました。この取り組みは昨年度で終了しましたが、今年度からは新たに、駒ヶ根市職員が協力隊員としてポカラ市で活動する予定です。

さて、この視察団の中に元協力隊員の姿がありました。野村

裕範さんです。かつて都市計画の隊員としてポカラ市役所で活動しました。島根県出身ですが、「ポカラ市とのつながりが深い」との理由から、帰国後、駒ヶ根の企業に就職しました。こんなところにも交流の効果があらわれているのです。



建設中の母子保健病院を視察する駒ヶ根市民訪問団

白上調整員 帰国

駒ヶ根市からJICAネパール事務所へボランティア調整員として派遣されていた白上陽子さんが、2年半の任期を終えて1月末に帰国しました。赴任当初は「日本と異なる生活環境や、予定通り進まないことに戸惑った」といいますが、慣れるにつれ、「さまざまな視点から物事を見ることができるようになった。また、ネパール人の優しさに触れ、助けられることも多かった」と振り返ってくれました。

協力隊員の任地を視察する白上さん(中央後方)▶



イベント・レポート Event Report

▶ 開発教育実践フォーラム

1年をかけて開発教育の手法を学んできた方々が、その成果を披露するフォーラムが2月5日、JICA中部(名古屋市)で開かれ、長野県からも2名の教員が発表に臨みました。

このうち、上田市立丸子中央小学校の村山弘子教諭は、JICAの教師海外研修でブラジルを訪れた経験をもとに、小学3年生を対象に体験型授業を展開したことを報告。「児童がブラジルをより身近に感じることができた」と成果を語っていました。



▶ 県議会議員に ボランティア活動を報告しました

2月29日、長野県庁にて、長野県議会国際協力促進議員連盟に向けた、帰国ボランティアによる活動報告会を行ない、代表して浅川美歌さん(バヌアツ派遣/プログラムオフィサー)が、任国での活動、エピソードなどを話しました。

当日は議会中でしたが多くの議員の方々が聴講し、任国についての質問も飛び交う場となりました。



▶ 平成23年度第2回 帰国ボランティアセミナー

2月12日、昨年9月から今年1月にかけて帰国した長野県出身のJICAボランティアを対象としたセミナーをJICA駒ヶ根で実施しました。帰国後の進路にボランティア経験をどう生かすかという講義のほか、地域での社会還元活動について関係者が説明しました。

また、出席者6名が2年間の活動を写真や映像をまじえて報告。多くの方が熱心に耳を傾けていました。



▶ 「天使のカレー」試食会

元青年海外協力隊員でカレー店を経営する小笠原一博さん(駒ヶ根市)が開発し、健康に配慮したレトルトカレーとして販売が始まった「天使のカレー」の試食会が3月4日、JICA駒ヶ根で開かれました。駒ヶ根協力隊を育てる会の主催で、同会のメンバーや訓練中のJICAボランティア候補者ら約50人が参加しました。

「天使のカレー」は油や小麦粉の代わりに寒天や雑穀を使い、カロリーを抑えているのが特徴です。収益は小笠原さんが協力隊員として活動したバングラデシュの小学校建設に充てられる予定です。



氏名 **坂口 直人さん**
Naoto Sakaguchi職業 **臨床検査技師**

協力隊経歴

- 派遣国 **パプアニューギニア**
- 職 種 **臨床検査技師**

私たちが病気や健康診断の際に、健康状態を数値で見ることが出来る陰には、この方たちの日々の正確な作業があります。北信総合病院で臨床検査技師として働く坂口直人さん。血液や細胞などの検査により、健康状態を示すデータ提供を行っています。「患者さんにとって的確なデータを責任持って出すこと」が仕事であると語ります。

協力隊で赴任したのは、首都から飛行機で2日かかるジャングルの中の診療所でした。検査のための試薬が不足し、輸血のための血液を保冷することができない環境の中で技師として限界を感じたといいます。しかし与えられた状況の中でも最善を尽くすことを心がけた坂口さん。「落としていい命なんてない」という使命感で活動を行ないました。

帰国後、復職し日本のスピードの中で業務に携わる中でも、パプアニューギニアで感じた命の重さを忘れることはありません。個人としても被災地復興のため東北や、栄村でのボランティア活動を地道に行なってきました。「ボランティアとは、自分自身から逃げず常にアクションを取り続けること」と語る坂口さんは、日々、データの向こうに見える患者さんの存在と真摯に向き合っています。

検査機器を扱う坂口さん▶

上司が見た
坂口さん**西尾 幸彦さん**

(北信総合病院 臨床検査科 技師長)

病院には外国の人が診察に来ることも多くなってきた中で、彼の語学力は期待されています。若手を育てる中樞になってほしいと期待しています。

さかくち なおと：1970年山ノ内町生まれ。1992年、中野市のJA長野厚生連北信総合病院に就職。臨床検査科に所属し、2001年に青年海外協力隊に現職参加。パプアニューギニアのパプア州立アイタベ・ヘルスセンターに臨床検査技師隊員として活動する。帰国後復職し現在は生化学部門を担当。

JICA国際協力 エッセイコンテスト2011**受賞者・受賞校決定**

昨年度は、「これからの日本 ～世界の中で私たちができること～」をテーマに作品を募りました。長野県内からは中学生の部に44校から1,900点、高校生の部に15校から1,288点の応募をいただきました。

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所長賞

中学の部

五明 愛さん

信大附属長野中学校3年

「捨てていたものが」



高校の部

稲垣 芙雪さん

長野西高等学校1年

「将来の夢」

個人賞 中学の部

佳作
小池 玲菜 (信大附属長野中学校1年)
松井 寛郎 (信大附属松本中学校3年)
佐々木まり奈 (信大附属長野中学校2年)
小林 千晶 (安曇野市立三郷中学校3年)
紙透はるか (塩尻市立丘中学校2年)
田近 良孔 (信大附属松本中学校3年)
福田 壮一郎 (安曇野市立三郷中学校1年)

**青年海外協力隊
長野県OB会会長賞**

森原あかり (信大附属松本中学校3年)
森 玲花 (白馬村立白馬中学校3年)
北澤みのり (信大附属松本中学校3年)
林 野恵 (信大附属長野中学校3年)
高木 萌 (松本市立旭町中学校3年)

学校賞 中学の部

特別学校賞
安曇野市立三郷中学校
学校賞…14校

個人賞 高校の部

佳作
北村 夏海 (長野高等学校2年)
前島 俊 (長野高等学校1年)
**青年海外協力隊
長野県OB会会長賞**
片桐聖莉加 (飯田長姫高等学校1年)
瀬川 碧海 (長野高等学校2年)
湯澤 充尋 (上伊那農業高等学校1年)
坂爪 弘樹 (長野高等学校2年)
米山 莉奈 (松川高等学校2年)

学校賞 高校の部

特別学校賞
上伊那農業高等学校
下伊那農業高等学校
学校賞…3校

おめでとう
ございます!

Information JICA駒ヶ根
インフォメーション**派遣前訓練公開講座**

- ▶ 世界の宗教理解 …………… 4/19(木) 14:10～17:00
- ▶ JICAボランティア事業の理念と目標
…………… 4/20(金) 13:00～14:50
- ▶ 異文化適応概論 …………… 4/28(土) 15:10～17:00
- ▶ 国際関係と日本の国際協力 …… 4/30(月) 15:10～17:00
- ▶ 地球のステージ …………… 5/23(水) 19:00～20:50
- ▶ ニッポンの知恵から学ぶ …… 5/30(水) 15:10～17:00

※日程変更の可能性があります。詳しくはJICA駒ヶ根まで

着任のお知らせJICA駒ヶ根業務課長 **瀧沢 浩一**

はじめまして。ボランティアの訓練・研修にたずさわるのは初めてですが、途上国での活動や生活をより良いものにできるような訓練の実施を目指したいと思います。また、長野県は私の故郷です。みなさんの町々におじゃましてお会いできることを楽しみにしています。

長野県国際協力推進員 **宮澤 久美子**

こんにちは。私は青年海外協力隊員として、ブルキナファソで青少年の育成活動などにたずさわってきました。今度は大好きな長野県で自分の最善を尽くしたいと思います。よろしくお願いします!

青年海外協力隊&シニア海外ボランティア 平成24年度 春募集スタート

一日体験入隊
4/28(土)

11:00~17:00
場所: JICA駒ヶ根

募集期間

4/1(日)~5/14(月)

県内各地で
募集説明会を行います

【青年海外協力隊】

開催地	開催日	時間	説明会場
長野	4月7日(出)	10:30~12:30	長野市もんぜんぶら座301会議室
松本	4月14日(出)	10:30~12:30	松本市中央公民館(Mウイング)4-1会議室
長野	4月21日(出)	10:30~12:30	長野市もんぜんぶら座304会議室

【シニア海外ボランティア】

開催地	開催日	時間	説明会場
長野	4月7日(出)	10:30~12:30	長野市もんぜんぶら座302会議室
松本	4月14日(出)	10:30~12:30	松本市中央公民館(Mウイング)4-2会議室

帰国した JICAボランティアの方々

2年間の活動
お疲れ様でした!!

日達 真美さん

(原村)

●派遣国: ニジェール・ガボン ●職種: 感染症対策
アフリカのニジェールとガボンで感染症対策の活動をしました。2年という短い期間でしたが、アフリカが第二の故郷となりました。これからも大好きなアフリカの人々と一緒に活動しつつ、日本とアフリカのつなげ役になれたらと思っています。



小泉 麗さん

(長野市)

●派遣国: バヌアツ ●職種: 小学校教諭

バヌアツで活動させていただき、豊かさとは何か、日本の良さとは何か...、様々なことを考える機会に恵まれました。今後周りの人への感謝を忘れず、日本社会に貢献できるように頑張りたいです。ありがとうございました。



樋掛 裕美子さん

(駒ヶ根市)

●派遣国: ウルグアイ ●職種: 地域保健医療システム

2年間の活動では、外国から日本を見直す良い機会になりました。特に、親、友人を大切に。物を大切に使う。余暇を充分とる。この3点は、今ある習慣、文化の価値観を見直し、周囲の人々にも伝えていきたいです。



佐藤 利春さん

(飯田市)

●派遣国: スリランカ ●職種: 食品加工・流通

長野県内で食品加工や直売所支援を経験したことがスリランカ貧困層女性グループの生計向上に役に立ちました。女性のパワーは国が違ってもやはりすごいです。今後は長野県内の加工、直売をしている女性グループに貢献したいですね。



大野田 雅洋さん

(長野市)

●派遣国: ザンビア ●職種: 理数科教師

任国では日本との環境や文化の違いに最初は戸惑いしましたが、無事に2年間の任期を終えて帰国することができました。今後は、この経験を日本社会に還元していきたいと思っています。



青年海外協力隊

長野県出身新ボランティア

品沢 有希さん (上田市)

派遣国: セネガル
職種: 看護師

藤城 友昭さん (上田市)

派遣国: ケニア
職種: プログラムオフィサー

梅田 力さん (御代田町)

派遣国: サモア
職種: 美術

荒井 直人さん (伊那市)

派遣国: セネガル
職種: 野菜栽培

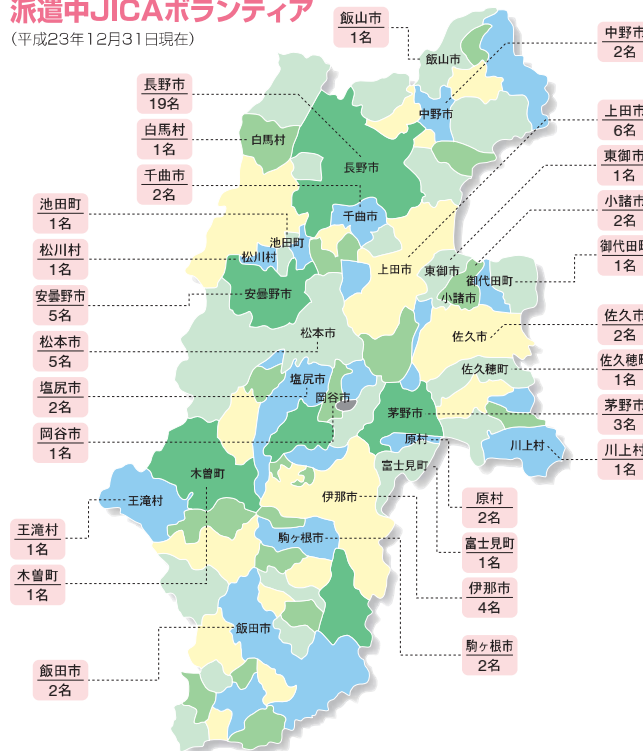


左から荒井さん、梅田さん、品沢さん、藤城さん

行ってきます!!

派遣中JICAボランティア

(平成23年12月31日現在)



JICAボランティア派遣実績

平成23年12月31日現在

①青年海外協力隊員数	③日系社会青年ボランティア数
派遣中 57名 (内女性32名)	派遣中 0名 (内女性0名)
累計 703名 (内女性331名)	累計 17名 (内女性9名)
②シニア海外ボランティア数	④日系社会シニアボランティア数
派遣中 12名 (内女性3名)	派遣中 0名 (内女性0名)
累計 50名 (内女性12名)	累計 3名 (内女性0名)

発行 独立行政法人 国際協力機構 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
http://www.jica.go.jp/komagane/index.html

JICA駒ヶ根 メールマガジン

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。



配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp

までメールでご連絡ください!